



令和7年度国立市市民表彰 教育文化功労



金藤 智子氏

平成11年に国立市ソフトテニス連盟に加入して以来、ソフトテニス競技の普及・振興や青少年の健全育成に取り組んでいます。大会運営や指導支援などを通じて、スポーツを通じた交流と地域の活性化に取り組んでいます。

“いつまでも、誰もが” 地域で楽しめるスポーツ ソフトテニスの魅力

ソフトテニスをはじめられたきっかけを教えてください

昭和の時代、上皇后美智子様がテニスをされていたお姿に憧れる、いわゆる「ミッチーブーム」をきっかけに、高校時代にテニス部へ入部し、ラケットを手にしました。当時、地域では「テニス」と言えば軟式が主流で、自然とソフトテニスに親しむようになりました。数あるスポーツの中でも、努力次第で上達できることが自分に合っていると感じ、本格的に取り組むようになりました。

国立市ソフトテニス連盟に加入されたきっかけを教えてください

平成4年(1992年)に、国立市に転居してきました。引っ越ししてすぐに、以前活動していた地域のテニス仲間の紹介でソフトテニス連盟の方から、「都民大会にぜひ協力してほしい」と依頼があり、選手として参加しました。そのご縁もあって国立市のソフトテニスサークル「国立スピカ」に入会し、競技を続ける中で連盟にも加入することになりました。

連名や国立市スポーツ協会ではどのような活動をされていますか

「国立スピカ」の会長を務めながら、連盟の会計や行事のお手伝

いをしていきます。また、スポーツ協会では、くにたちファミリーフエスティバルやジュニア講習会等の行事のお手伝いも行っています。令和6年度(2024年)の市町村大会において、国立市が主幹となり女子ソフトテニス競技が開催された際には、会長補佐として大会運営に携わりました。会員の皆さまや関係団体のご協力のもと、無事に大会を成功させることができました。

ソフトテニスという競技の魅力を教えてください

ソフトテニスは、基本練習をしつかり行うことで、最低4名で、年齢やレベルに応じたゲームを楽しむことができます。気持ちの良い打球音、瞬時に頭を巡らせて展開を予測し、身体全身を動かしながらの試合、プレーだけでなく審判などの役割も含め、屋外で爽やかな汗を流せることが、ソフトテニスの大きな魅力の一つです。また、年長者にとっては、健康の維持や体力づくりにつながるのと同時に、頭と体を同時に使うことで認知機能の維持にも役立つ生涯スポーツとして親しまれています。

地域におけるソフトテニス競技の今後についてどのようにお考えですか

スポーツが盛んな国立市で、ソ

フトテニスの愛好者を増やすことは容易ではありません。手軽に運動を楽しみたい方や、昔からソフトテニスに関わったことのある方が参加できる場を設けることで、生涯スポーツとして継続していければと考えています。



▲ダブルスの練習風景



▲四市交流試合「クローバ杯」国立代表選手